

# 目次

<b>第1章 企業リスクマネジメントとノウハウの保護</b>	
<b>－ノウハウ保護と特許保護の戦略的選択について－</b>	<b>1</b>
I. 企業のノウハウ保護への対応	1
1. 開発技術のノウハウ保護の見直し	1
2. 企業のノウハウ保護への対応	3
3. 企業内秘密管理体制強化の背景	4
II. ノウハウ保護と特許保護の選択	5
1. ノウハウの管理	5
2. ノウハウ保護と特許保護の選択基準	6
III. 営業秘密の秘密管理性	8
1. 営業秘密の秘密管理性	8
2. 具体的な事件	10
3. 秘密管理性のレベル	14
IV. 企業のノウハウ保護戦略のあり方	15
1. ノウハウ保護・特許保護選択基準	16
2. 企業内の秘密管理	17
3. 先使用权の立証	18
V. 最後に	18
<b>第2章 営業秘密と秘密保持命令</b>	<b>32</b>
I. はじめに	32
II. 秘密保持命令制度の導入	34
1. 裁判所法の一部を改正する法律	34
2. 秘密保持命令	35
3. 秘密保持命令の発令場面	37
III. 裁判の公開停止	38
IV. 秘密保持命令発令の事案	40
1. パルナパリンナトリウム注射薬事件の概要	40
2. 本件審査資料の営業秘密性	41
V. 本件秘密保持命令の検討	43
1. 営業秘密の特定	43
2. 使用又は開示制限の必要性	44
3. 秘密保持命令を受けるべき者	44
4. 秘密保持命令発令後の問題	46
VI. おわりに	47

<b>第3章 変貌する米国特許制度とその運用</b> .....	<b>49</b>
I. はじめに .....	49
II. 米国特許制度特有の問題.....	50
III. 特許専門会社とパテント・トロール.....	55
1. 特許専門会社.....	55
2. 特許買収ライセンス会社（自社技術開発なし）.....	56
3. 特許開発ライセンス会社（自社技術開発を行う）.....	58
4. 特許評価会社.....	64
5. 特許ライセンス代行会社.....	66
6. オークション会社.....	67
IV. 特許専門会社と特許弁護士.....	68
1. 成功報酬弁護士.....	68
2. TrollTracker 訴訟.....	70
V. 米国特許行政の変貌.....	74
1. 概略 .....	74
2. 連邦政府の対処.....	74
3. 特許業界における対応.....	80
VI. 最高裁 eBay 判決と KSR 判決の影響.....	83
1. 最高裁 eBay 判決と KSR 判決の影響.....	83
2. 最高裁 KSR 判決.....	85
<b>第4章 ロシアの知的財産制度とエンフォースメント</b> .....	<b>86</b>
はじめに .....	86
I. ロシア知的財産に関して良く聞かれる素朴な質問.....	87
II. ロシアの知的財産制度.....	88
1. ソビエト連邦の消滅と知的財産専門家の流出.....	88
2. プーチン大統領時代の知的財産政策.....	88
III. 特許、商標出願と審査の状況（2006年度）.....	89
IV. ロシア連邦民法典第四部.....	91
1. ロシア連邦民法典第四部の制定.....	91
2. 商標ライセンス契約の登録について.....	92
3. 施行規則等 .....	92
V. ロシア特許庁（ROSPATENT）.....	93
1. ロシア特許庁の文献館.....	93
2. 特許審査官 .....	93
3. 実体審査の質.....	94
4. 日本語明細書による出願.....	94
5. ロシア特許庁のホームページ.....	94

6. 特許紛争評議会 (Chamber of Patent Disputes) .....	94
7. 周知商標の保護.....	94
VI. ロシアで特許を取得するルート.....	95
VII. 実用新案制度—Patent Squatting (特許不法占拠) 問題.....	95
VIII. 知的財産権侵害への対処.....	96
1. 行政法に基づく処罰.....	96
2. 不正競争法に基づく処罰.....	97
3. 税関による水際措置.....	97
4. 民事訴訟 .....	99
5. 刑事訴訟 .....	100
IX. ロシア模倣品の現状.....	101
1. 模倣品はどれだけ出回っているか.....	101
2. どのような模倣品を製造するか (できるか) .....	101
3. ロシアの模倣品対策.....	101
X. 知的財産専門家の現状—代理人の数.....	102
XI. ロシアについての基礎知識.....	102
1. ロシア連邦 (Russian Federation) 85 の連邦構成主体 .....	102
2. ロシア連邦議会 (連邦会議 178 人、国会会議 450 人) .....	102
3. ロシアの特徴：多民族、連邦公用語、識字率、都市人口率等.....	103
4. 強いロシアの復活と中央集権化.....	104
XII. ロシア知的財産権制度の今後の課題.....	104
1. ロシア政府の産業政策.....	104
2. 技術者の優遇と研究開発成果・利益の保証.....	104
3. 自社商標の登録、先を見据えた特許戦略.....	105
4. ロシア情報 .....	105
<b>第5章 インドの知的財産保護制度及びその運用状況.....</b>	<b>106</b>
はじめに .....	106
I. インドの知的財産に関する状況.....	106
1. 知的財産重視への政策転換.....	106
2. 知的財産庁の近代化.....	107
3. 出願数の増加と審査官数.....	107
4. インドにおける模倣被害とエンフォースメントの実体.....	108
II. インド特許制度 .....	108
1. 出願からの流れ.....	108
2. 特許保護の範囲.....	109
3. 出願手続きに関する規定.....	111
4. 特許審査 .....	113

5. 異議・審判制度.....	115
6. 拒絶理由、異議理由、取消理由について.....	116
7. 特許権付与後.....	117
III. インド商標制度 .....	120
1. 出願からの流れ.....	120
2. 周知商標の保護.....	120
<b>第6章 337条調査 —2007年の結果と2008年の見通し—.....</b>	<b>125</b>
I. 概要 .....	125
II. 2007年における337条調査の傾向 .....	126
1. 新規事件 .....	126
2. 2007年における337条調査の解決状況 .....	126
3. 日本企業の関与状況.....	130
III. 2008年の見通し.....	133
<b>補遺 パブリック・コメントの提出.....</b>	<b>170</b>